



風俗文選

賦譜

三

5700
3



門 八 6
號 5700
卷 3



益壽

晴侯氏可菴書

57277

鼠賦 チズミシツフ

去来

旅賦 タビ

許六

楊揮豆賦 ヤウキトウ

毛純

四一糶廬賦 シイ

李由

閑居賦 カンキョ

汝村

招魂賦 カウコン

支考

附譜

百鳥譜 ヒヤクニシ

百卷譜 ヒヤクセン

山水譜 サンスイ

風俗文選卷之三

五老井

許六選

賦類附譜



鼠賦并引

去来

此賦以五音相通假名字為韻

鼠一乃名々々々々々又よめとてとらたつとては
多々四人の鼠々鼠々つとて大々何い又いす
さ況ハすよとて。山椒の眼小豆乃鼻。歯々糸と何
き々小神も強へく。耳ハ赤芽のめり何い何
尾をさしめく。籬のさやとなつてさし。背腰の
うよめとて。うんくも濃も深せわ。を何や。夜中
を隠る。きよよめとて。を何を。を何。を何。

ひまこをれり一ひさるる。乃賊と作りて曰。

○二月尾嵐の穴を塞ぎはげしし。世が心づかき世をおもひやう
 死て人をかたしし。是乃うらふ病持ま。油をのせ
 り。世の酒よひてくれど。いりり沈醉をんとも。要か
 一。恙とこころあら。けなよみ。大業とうじ。あや
 酒神に病をま。ふりり。あやをちりり。回か女乃中
 ともさう。あや。あや。あや。はらりて。源平の乱を
 河い。あつ。いひく。信人れ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 て。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 水。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 成。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

乃。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 ま。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 新。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 も。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 て。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 湯。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 ち。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 こ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
 鹿。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。

はぐしめぐさるをと思ひ。日よみの御よ呼まきて。位司の申
 けり。⑧ 巨敷乃か。いにも。甲子とむく。年終號末。⑨
 まふ。⑩ けり。けり。まのまを。く。神が。子乃。日。の。神。賀。あり。子。祭
 と。つ。い。い。づ。ま。乃。を。者。の。傳。へ。⑪ かの。日。中。け。り。も。よ。火
 ⑫ 海。原。や。と。一。日。の。後。よ。な。た。よ。る。由。こ。海。原。と。か。り。神
 孫。何。の。尾。を。び。つ。ま。よ。事。く。よ。勢。と。四。原。の。化。一。と。も。也
 鳥。羽。玉。乃。割。と。夜。い。づ。ら。と。も。な。神。の。象。と。こ。り。⑬
 歎。け。り。か。い。恐。懼。を。り。⑭ 麝。香。鼠。と。は。扱。は。ま。よ。何。な。り。神。て。
 お。し。置。よ。り。も。か。づ。よ。あ。れ。と。も。や。り。な。る。ハ。嫁。入。り。給。座。り
 小。ぞ。ま。こ。り。七。郎。と。ハ。中。と。新。左。衛。門。と。つ。ま。る。ハ。け。り
 や。よ。す。り。そ。乃。ほ。ら。れ。べ。⑮ 大。あ。ら。う。少。孫。⑯ 將。其。日。鼠。

名乃。⑰ 月。く。十二。の子。と。う。じ。彼。が。家。よ。う。と。わ。は。は。り
 け。び。⑱ にも。お。く。福。の。神。也。あ。せ。つ。ま。ひ。⑲ 海。原。に
 づ。く。ル。が。り。ぞ。や。ま。あ。け。り。鼠。穴。也。⑳ 初。羽。の。後。乃。鼠
 か。関。り。り。り。⑪ 位。法。の。奥。け。鼠。窟。あり。⑫ 目。か。な。り。を。い。く。
 け。り。神。乃。世。は。び。さ。あ。り。⑬ だ。ら。り。ゆ。り。ん。り。と。お。あ。り。さ。り
 霧。鼠。く。つ。り。て。猫。と。啗。の。志。あり。とも。と。井。け。鼠。窟。が
 女。乃。の。ま。は。ひ。す。り。が。と。と。遂。さ。る。り。け。り。さ。り。と。い
 ぶ。り。さ。り。⑭

旅賊并引

許六

旅に丸旅のぞ。丸旅に遭害乃泥。あり。小祇の

又河川ハ皆北流乃懐カレ。東羽白川の田植所
と云神。奥羽の川を先ぐ。さる路乃廿五里。長
たがらと云。あつこ山乃々深よ。次浦と称
ぬ。作は上横よ天乃川。物好乃被と云。白
と称。や捨乃二見と流つて。七石。平余程と云
も。あつこ山乃深。カ量。風。ド。一。神の飯と云
く。用。水。を。あ。さ。る。日。く。い。色。葉。を。居。と。と。く。ま。後。の
難。流。上。乃。ぶ。時。そ。よ。旅。十。神。の。流。を。明。と。て。流。ド。こ
何。果。の。求。め。し。應。じ。と。く。況。彼。よ。多。す。わ。俗。決。と。あ
つ。先。犯。賊。子。殿。と。の。流。あ。れ。し。こ。奥。乃。細。る。ま。ま
松。乃。類。く。あ。ら。う。と。

旅店の上。上段よ書院。座。神。義。式。す。り。だ。の。あ。れ
ち。権。下。や。ぐ。の。け。け。く。門。は。乃。入。湯。桶。と。あ。け。て。居。と。わ。
座。よ。小。砂。の。さ。ら。い。板。の。お。も。も。の。ぶ。り。一。が。女。の。そ。え
鴨。ハ。ま。た。な。と。と。く。も。松。を。板。末。ハ。あ。て。隅。に。一。を。思。を。
す。天。井。禊。々。あ。ら。い。ふ。さ。い。づ。ふ。流。初。軒。つ。く。く。紙
と。い。く。ん。だ。乃。心。し。つ。あ。の。中。よ。遊。こ。わ。障。子。賣。あ。る。難。言。と
せ。ま。れ。や。り。く。一。の。松。と。く。さ。が。ま。の。い。れ。床。入。れ。れ。と。こ。こ
一。の。松。を。よ。ま。と。破。る。は。ま。ハ。七。つ。と。い。ひ。く。火。を。と。け。し。
孫。人。も。あ。ら。う。と。も。く。寐。て。板。好。あ。け。く。わ。と。め。く。は。か
か。り。

大石乃守棟。乃。も。孫。く。る。と。ま。と。け。

乃づきの上体いんた。形改の胸はうーとさうと。から露^ツ
 ーとさうと。馬さーとつうと合。一僕乃^レ収よさうと
 存りまうー。鶴乃^レあねよ。つきの男と記ー。挑^レ訂と
 ーて。お返をとりとめおとー。入湯のーあよ入と
 何乃^レあぞや。はこの栞^レあよるのほろくとのあふよ。
 世^レ伝やそれなよあまの^レ務^レの^レ宿とつよよも。
 信^レかちんつこ。

漸^レたの^レ宿^レあよ。餅^レ酒の^レなま^レあも^レなり。磨^レ汁^レの
 餅とくろま。あま^レ端^レま^レあふと。つよま^レあ^レつと
 づ。寒^レを^レも^レ冷^レま^レ麵^レと^レす^レむら。お返乃^レあま^レあ^レ餅^レ
 乃^レほろくとさうとつうと。夏^レは^レ甚^レ也。卵^レの^レ煮^レめ^レさ^レら。

本^レき^レ乃^レ秘^レな^レれ^レは^レ山^レよとさみ。新^レの^レ着^レ板^レハ^レあ^レと^レけ
 そ^レり。思^レ弱^レ乃^レ回^レあ^レハ^レ何^レの^レあ^レ冷^レま^レを^レさ^レら。
 身^レう^レけ^レ春^レ乃^レ密^レ博^レや^レう^レは^レの^レ心

舟^レ川の^レと。さう^レあ^レる^レの^レ情^レ。ま^レづ^レか^レど^レん^レご^レ。五月^レ
 たちも^レか^レり^レ乃^レ子^レ秋^レと^レあ^レ入^レお^レの^レが^レあ^レあ^レら^レハ^レ流^レる^レま^レど。
 着^レぐ^レけ^レ乃^レ傍^レを^レ納^レて。ま^レづ^レく^レを^レ息^レを^レは^レぐ^レと^レあ^レは。
 崎^レ回^レ令^レ谷^レの^レ賦^レなり。あ^レ乃^レ流^レ深^レを^レ何^レあ^レけ^レと^レあ^レく^レ
 ころい^レた^レま^レなる^レ酒^レあ^レ也^レ。天^レ流^レの^レ申^レれ^レあ^レは。さ^レん^レを^レえ
 ま^レま^レふ^レ。あ^レん^レと^レ服^レと^レ付^レ入^レて。荷^レを^レ肩^レよ^レけ^レて^レあ^レあ^レれ
 と^レあ^レら^レ。肩^レを^レあ^レあ^レ度^レー^レて^レ舟^レあ^レま^レま^レ。目^レあ^レが^レ流^レと^レか^レこ
 ころ^レハ^レ流^レー^レ場^レの^レ情^レ也。さ^レか^レる^レあ^レあ^レ昇^レら^レ。秋^レま^レま^レ日^レ

月を透つて一盞乃酒よ。浩如の氣とや。やよ。一も
と漂り飄りとす。や。て。す。あ。の。身。を。系。つ。た。若。若。の
目も。ま。ま。を。乃。あ。い。も。板。乃。手。お。下。は。眠。て。帳。の。於。に
唯。汝。の。飲。冷。を。を。飲。よ。つ。げ。け。て。か。も。と。ら。生。の。令
と。作。く。也。小。使。ち。こ。う。い。ま。ぐ。う。吸。ぐ。う。の。裏。よ。こ
と。後。ハ。耳。の。穴。に。納。め。令。ハ。擯。鼻。禪。よ。結。ぶ。つ。と。せ。れ。若
孫。も。言。て。世。は。あ。る。人。こ。乃。こ。い。ぶ。く。月。日。を。世。を。ま
ま。み。と。定。め。え。ら。い。世。と。や。ま。う。と。ら。る。人。も。似。て。わ。

出女もおりのり。意や。年一のそ。

流流漂流のよ。ま。あ。い。れ。あ。る。と。大。一。ハ。お。は。な。れ。獨
流。流。漂。流。の。よ。ま。あ。い。れ。あ。る。と。大。一。ハ。お。は。な。れ。獨
流。流。漂。流。の。よ。ま。あ。い。れ。あ。る。と。大。一。ハ。お。は。な。れ。獨

乃。お。雲。け。ス。ま。ま。情。少。く。ま。あ。う。い。は。お。お。く。を。此。布。を
し。て。ぬ。れ。く。ら。お。と。焼。た。ま。い。ら。う。あ。る。ハ。こ。の。ま。ま。を。作。と
つ。お。ま。ま。を。お。け。て。ま。ぐ。く。ま。と。休。ま。し。極。め。れ。れ。場
よ。り。遊。お。ら。す。れ。て。知。て。の。ら。ぬ。お。り。り。股。を。す。く。め。あ。さ
乃。お。小。杖。と。推。か。て。あ。い。び。べ。ー。と。あ。ら。う。い。人。同。高。死
の。お。ま。ま。は。お。も。お。も。ま。ま。ん。醫。治。療。乃。も。は。ま。ま。と。く。懐
中。お。り。り。ま。ま。の。や。り。く。急。病。を。治。す。巡。礼。龍。脚。の。族。ハ。語
既。は。倒。ま。倒。り。同。な。り。肝。葉。ハ。直。を。と。く。ま。ま。老。後。の。懸
み。く。い。目。下。ハ。入。中。く。く。へ。か。ま。ま。の。終。ハ。ま。ま。泉。の。下。り
詠。く。か。の。下。何。ん。か。お。ま。ま。な。ら。ん。終。を。あ。ら。ま。ま。大。ま。ま。れ。た
中。ハ。こ。大。く。年。れ。粉。衣。敷。の。推。指。を。小。れ。と。ま。ま。ら。ん。て

何れかある人といふ名もあらずなりけり也。是れ乃
は、過の量より。後父をよみて。因行の別を情し。隅田
川より名傳を尋て。家子れ古橋よれはる。今も
古橋の人。孫娘の情を垂して。此娘の腸をさうも。
能固ハ白川乃。いとみく。二もいみちのく。おまじま。
不二のち乃。二分を求めん。ずまやたあま。ゆる者。
自身を老人さち。東海屋のつす。もあしぬ人乃。因難
まおし。ゆら。いと。つ。翁のあま。耳の。あ。り
し。い。ま。は。

揚揮豆賊

毛続

○系小豆あれ能よ。一。俵よ納つ。二。よに。い。あふて。是。わ。ら。乃
仇名とれ。神は乃。粥。ハ。瘰。を。け。た。卯月のをれ。牡
丹餅。う。り。お。右。角。と。累。一。て。今。根。乃。い。ま。ま。は。ぼ。と
との。い。ひ。か。ら。ハ。一。奇。い。人。と。秋。の。夕。み。あ。つ。神。は。か
君をぬら。秋の。か。と。め。つ。て。い。わ。池。落。乃。ハ。漢。や。
む。と。も。い。廿。た。り。饅。頭。乃。度。顔。め。く。付。ら。ア。と。よ
ハ。神。子。乃。つ。た。お。識。乃。こ。び。ら。付。ら。系。飯。と。い。い。也
深。更。と。ハ。保。屋。人。乃。右。づ。を。さ。ら。名。う。て。あ。つ。つ。と
解。謎。乃。さ。べ。ー。益。葉。草。乃。君。臣。乃。義。と。垂。一。ハ。ヤ

おろしをえすお情を述。從兄中者不死計の石也。
いづまの御時。いづまの御時。いづまの御時。いづまの御時。
乃竹より。乃竹より。乃竹より。乃竹より。
一ひみ遊。一ひみ遊。一ひみ遊。一ひみ遊。
むむむむ。むむむむ。むむむむ。むむむむ。
煮。煮。煮。煮。

甲梅序賦

僧李由

○恙と怖まま。恙と怖まま。恙と怖まま。恙と怖まま。
若窟乃。若窟乃。若窟乃。若窟乃。
ト。ト。ト。ト。

ある。ある。ある。ある。
みと。みと。みと。みと。
ひら。ひら。ひら。ひら。
巢と。巢と。巢と。巢と。
梅を。梅を。梅を。梅を。
壻も。壻も。壻も。壻も。
らん。らん。らん。らん。
ら。ら。ら。ら。
サ破。サ破。サ破。サ破。
咆乃。咆乃。咆乃。咆乃。
即。即。即。即。

削る者も其の意を合ふ。さす神てさすけいひの。

閑居賦

汶村

○閑居の夜の月と志と。さす神てさすけいひの。
けい米とくを位わもあふふ。やを神てさすけいひの。
うまもさうれ世の落海のけい米とくを位わもあふふ。
をを先業御野のけい米とくを位わもあふふ。梅折八風流を
恒よんかしく神てさすけいひの。梅折八風流を
まじり人冷たよさけいひの。梅折八風流を
あはしくし神てさすけいひの。梅折八風流を
雷の底とさすけいひの。梅折八風流を

さすけいひの。茶粥糖粉乃種こよ。砂羅。細
背身おまびり。さすけいひの。梅折八風流を
とけいひの。梅折八風流を
来也み。も鼻の指子とねいひの。梅折八風流を
自利乃自由とけいひの。梅折八風流を
考れ。さすけいひの。梅折八風流を
世を神てさすけいひの。梅折八風流を
よし。さすけいひの。梅折八風流を
合よハ八條とけいひの。梅折八風流を
子よ。さすけいひの。梅折八風流を
名木とけいひの。梅折八風流を

介取乃流と云ふも。宿屋を二由よ。ちと湛へ。ふとてあふ
 軒は藤く。琴之味線乃夕。小方淨務徳の晩。隣家
 乃職と云ふ。行人れ之と云ふ。粉白く。黒翠
 かつと。式屋とつ。縁言は廣く。神長子そと。ひ亭を
 だ。牡丹芍薬小教令と云ふ。蘊鉄海を。賦と
 つ。かき。伽波ハ文賦と云ふ。数ふ。は。一。燭ハ金津を
 ぞ。月之光と奪ふ。或は。梅角枸杞子を。種て。地よと
 ばく。の。入。又と。凡。茄子と。他く。ハ。乃。店。は。わ。も。夕。私
 乃。傍。乃。隣。の。中。葉。と。種。う。も。俳。類。の。菓。搦。ハ。隣。乃
 夢。月。を。雲。と。種。う。て。系。存。も。彼。法。書。の。系。法。と。名。を。回
 ト。う。も。じ。や。聖。人。い。つ。う。の。あ。わ。が。人。困。居。て。不。善。の。と

むんといば。つ。身。取。乃。見。通。一。な。れ。べ。一。

招菟賦

又考

三。あ。乃。は。昔。翁。の。魂。あり。わ。て。ぞ。ご。よ。う。ゆ。ぎ。う。び。そ。と。一。お。速
 よ。ゆ。事。も。さ。い。一。神。は。月。十。日。あ。ま。り。ぬ。あ。乃。四。方。よ。一。門。人
 あ。そ。じ。い。ゆ。く。ゆ。う。一。お。決。ま。り。ぬ。さ。び。さ。び。う。ゆ。の。こ。ま。さ。う。
 心。ぞ。こ。し。一。お。そ。神。か。へ。つ。ま。事。種。葉。門。よ。ま。の。花。ら。ま。は。ち。
 駁。ふ。こ。そ。て。別。と。う。う。び。そ。と。忘。よ。な。の。月。さ。あ。ま。り。人。を。そ。て
 候。む。さ。ら。ぬ。さ。秋。は。ま。と。ま。ま。ち。あ。れ。は。よ。れ。世。中。よ。何。よ。お
 乃。お。お。恒。縁。と。は。う。と。ま。世。計。の。ゆ。来。な。う。う。じ。い。ト
 春。の。乃。乃。終。よ。かつ。う。も。あ。う。家。志。く。う。ぶ。と。う。う。一。わ。わ。ら

こよゆりてり。遠くふるまきく。世の還事神しく。ま殊じ
し。やまよとらひぬ。藤花乃香い。や衣ふ。みくじ。
う。てい。む。の。物。よ。ひ。て。ま。の。う。ば。か。ど。か。う。ご。う。た。
魂す。し。や。い。還。来。ま。ま。も。あ。た。防。ハ。げ。目。好。あ。う。か。ま。
あ。ま。む。い。の。れ。若。者。四。ハ。空。は。の。山。ん。れ。細。さ。手。係。う。ハ
あ。く。好。と。甘。う。の。ん。し。ひ。ま。さ。れ。な。ま。豆。腐。と
あ。ま。も。れ。か。ち。う。ま。昔。以。弱。ハ。思。は。乃。望。れ。各。う。一。あ
ア。い。で。世。の。人。れ。況。味。ハ。あ。る。り。ん。や。魂。福。乃。あ
と。ふ。ら。ハ。東。屋。く。む。づ。く。お。ほ。乃。少。と。ゆ。り。は。酒。文
よ。み。り。也。香。も。な。び。さ。う。な。う。あ。や。之。鬼。う。れ。物。の。本
ま。ご。う。う。お。何。よ。り。あ。り。ご。う。世。さ。う。波。や。お。お。の。ほ。れ

ひ。こ。お。あ。い。び。の。海。と。ま。れ。て。心。ま。よ。せ。い。長
等。好。い。ろ。ハ。係。と。ぞ。う。ま。の。あ。ぶ。や。う。お。よ。ま。れ。た。う
て。忘。び。の。ち。い。ぞ。あ。く。ま。り。ま。た。の。幸。海。の。松。れ。現
う。に。花。れ。騰。の。ち。ま。り。や。ハ。う。種。む。は。し。ら。つ。れ。い。う。ま
い。ん。の。こ。ら。ね。え。入。江。妙。的。と。む。へ。ま。く。う。ま。ま。被。い。う。
聖。道。能。秋。の。ね。を。よ。こ。して。ハ。病。后。の。極。の。ふ。こ。う。男。を
徒。う。く。ま。ほ。の。た。ま。り。ハ。ま。さ。う。ほ。な。ら。ね。さ。何。も。あ。ら。う。ま。れ
思。や。ん。名。の。こ。と。む。じ。ん。後。い。れ。あ。う。げ。も。今。宵。ハ。侍。人
あ。ら。う。ぞ。何。れ。を。恋。松。内。の。喜。相。心。と。う。や。あ。ら。う。れ。思
ら。ゆ。ま。む。れ。花。も。咲。き。り。世。よ。ま。ま。返。中。國。ハ。あ。れ。ど。雲。は
み。原。れ。ら。う。で。や。ゆ。り。ん。魂。て。う。ゆ。ら。ま。ま。被。世。う。い。心。天。堂

[Faint handwritten text, likely bleed-through from the reverse side]

譜類

百鳥譜

支考

○鳥の名家乃と此也。是がこと下々人よりうのりばじ
陶淵明よ。意^タ唐の風骨ありといつる。とれを。鳥は湖山
が風流あるををさる。ば。さ。彼^バ西^シのや乃。あさるに
いふ。さる。時。葉^ハ門^ド乃月^ノれあ^リき^タた^スま^シく^ハあ^リし^トい^フ。
け^レと^ハ日^ノと^ハわ^ハい^ハえ^ハく^ハあ^リよ^ク也^ナ。あ^リく^ハは^ハき^ハの^ハ甘^ハ能^ハよ^ク。
衣^ハ裳^ハも^ハあ^リそ^クに^ハは^ハら^ハる^ト。よ^クて^ハ風^ハも^ハよ^クと^ハい^フ。
な^リん^ト。か^レれ^ハ在^リ肉^ハう^ク。あ^リ。胡^ハ蝶^ハと^ハあ^リる^ト。そ^レも^ハひ^つつ^り
と^ハや^ハお^りよ。

誰かの噂をきいた。いさよ。石文はねをのびた。あ
 りんといい。一物よ。それ。命をたぬ。わら。そのも
 韓信がやま。乃。又。武をけくさ。た。れ。た。る。べ。い。
 蒼鷹乃人をた。れ。い。く。眼の内。あ。く。く。つ。つ。を。者。
 とう。ぬ。へ。さ。ふ。と。や。い。さ。つ。じ。一。藤。よ。名。あ。る。そ。れ。き。
 世の人。さ。つ。ま。ゆ。る。い。も。た。い。い。い。
 かの年。夥。が。若。世。生。乃。宿。は。藤。ま。つ。く。い。子。ま。太。勝。を。
 ち。ち。り。万。里。を。う。い。や。ま。た。さ。さ。う。ば。を。の。れ。ち。ま。つ。い。
 の。こ。こ。て。か。か。う。い。う。い。方。も。あ。い。ど。彼。風。風。と。
 け。も。い。く。り。る。も。い。う。あ。い。い。
 縮。員。も。い。く。り。る。も。い。う。あ。い。い。が。い。く。

ぬ。あ。ぬ。ま。い。く。ぬ。像。と。標。よ。の。こ。も。い。く。実。と。こ。め。る。内。の。者。
 子。ま。つ。い。い。く。り。る。代。轉。し。う。も。た。い。い。い。お。さ。い。ぬ。い。く。り。る。
 じ。い。ぬ。ぬ。あ。い。の。花。乃。咲。こ。ば。い。て。ゆ。か。の。い。ま。も。ま。い。く。
 時。ち。約。ち。の。ち。り。あ。い。さ。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
 名。ち。あ。い。く。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
 か。を。れ。こ。か。ら。目。は。頼。白。う。も。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
 ち。い。く。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
 活。い。
 利。は。春。ハ。後。日。ハ。事。言。い。て。た。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
 け。い。
 ぬ。と。言。い。

さるに... 何もある也。
 之先... 月日...
 へあや... 佛...
 毛を...
 する...
 しい...
 後...
 市...
 秋...
 一...
 賜...

一...
 乃...
 か...
 福...
 万...
 是...
 慈...
 舖...
 二...
 て...
 お...

扶桑十夷志八有飼鳥...
 海...

...

...

なる時よりあるんがの法ゆり。若くしもくははきわる
「りの孤村よ出て夕陽を海に垂たけ。舟の家よつり
音もおつらんと。はぢまきよまもおむんたからい。

驚動しは若乃か。くは此の也。また若の言のあつら
様子乃 魔をおどろし。若度の噂のあつら。旅人の
涙を催も。すんでお事。こはちか所。こまに。お新ハ原
迄乃 川情をほくわ。

別は川流乃 おがけしれき法を体乃ちどわ新ぢり
あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

あつらわおく噂ハ。んもまきゆへうしかな。そぶ人の
お壘なるあまお新法も。は清くく。そま。ま。別て
あそつらん。う。ち。か。お。や。り。ま。ら。ま。よ。あ。つ。て。忽クニチこ

いよいよ面おもひをかきしめたるや。百花の露さかたなるば
残れぬるともふとくはなれり。

かたしおもひをかく。まじりありまじりなるといふ。かなうも
あつたしとて。こころさきなる顔もあつたさうさういひ

先傳もやびうもあつたあそびあつた也。
漁者も位なる勢いもあつたあそびあつた也。

いよいよあつく。あつたあそびあつた也。葉の穂乃静かなる時
いよいよあつくあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

いよいよあつくあつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。
あつたあそびあつた也。あつたあそびあつた也。

をえはくろく鳥乃ぞしりふてかそやうたうぬ。孫は備
 ちる度たる。一。は角乃す此ののわらわらる。をこの彼が
 なをなづるぶよるも。や。とおそ強。一。
 引あしてを。名。あ。う。ざ。れ。と。の。ら。鷲。乃。二。名。を。泥。
 溜。と。い。ひ。倭。も。行。こ。よ。と。い。ふ。多。あ。つ。て。お。つ。ひ。が
 小。じ。り。き。う。や。し。は。は。ま。と。事。は。た。や。涼。か。の。味。を
 と。つ。ま。る。か。し。ら。ぬ。み。い。ん。え。や。れ。び。く。く。あ。な
 かな。ま。施。乃。座。を。し。も。う。の。彼。む。し。一。
 世。を。信。と。い。ふ。多。あ。り。て。ま。秋。乃。さ。く。お。を。ま。う。彼。孫。は
 不。又。さ。り。し。と。れ。れ。も。果。は。く。く。ま。あ。り。て。い。ま。は。ま
 せ。ま。く。か。り。め。れ。類。も。あ。り。彼。ま。ゆ。く。時。を。あ。へ

あつしり。子。公。治。長。が。ま。な。た。り。た。ぶ。さ。る。と。い。た。り。一。二。説。一。夜
寝ヲ好鳥也其餌ハ葦麦
 白米ノ類。餿頭ハ嫌ナリ。孫はま。る。ま。れ。た。う。く。し。一。は。せ。り
 ありて。も。又。論。な。り。と。い。た。り。一。隆。鼻。乃。ま。り
此ノ人乃。あ。を。と。ま。し。一。愛宕高嶺ノ山ニ在テ。
杉ノ木ニ懸ル鳥ナリ。 迦。後。類。一。
 かの。義。ま。あ。り。れ。れ。が。家。ハ。さ。う。も。かの。幅。幅。や。い。ふ
 と。あ。り。し。と。い。は。い。ひ。ふ。

百花譜

許六

（高世乃人の花を。古人の實す。さ。そ。れ。ら。づ。と。乃。時。花
 實。系。備。乃。世。あ。り。む。

梅乃風骨。く。ら。る。る。の。陰。ま。お。乃。中。よ。似。く。ら。る。あ。ら。た。

うほひわー。後よ香おるは一色の。あふ必也と申さる
り。此。

利也。此を妻乃侍。侍の侍。毒のごとく。此は物也。
ようち志づき。まこと人乃下よまこと侍ごす。

根もぞとありの人乃。お妻とむく。あまらる。婿子なる風
俗も似まじ。あわぐら。家は治め。力を備め。を

り。し侍ごす。まじ。が。女。な。侍。い。も。化。粧。下。
み。粧。と。ま。ま。ご。ね。が。物。乃。よ。ま。花。た。り。

此。え。ま。あ。や。よ。ま。あ。り。ん。梅。梅。乃。お。好。れ。侍。なる
気。と。し。ん。じ。ひ。あ。ま。ま。下。司。乃。子。孫。候。は。化。粧。し

一。風。を。着。飾。く。ぞ。る。が。い。し。一。燭。し。あ。み。を。侍。さ

い。も。月。毎。小。年。乃。あ。ら。う。ふ。産。毛。け。う。あ。ふ。あ。う。て。い。や。
藤。々。執。心。乃。ぬ。こ。さ。む。ぢ。り。り。く。な。ら。う。う。み。を。う。ト。一。お。む

いと。お。は。い。く。す。し。

山。吹。乃。ま。り。を。り。る。肩。同。容。す。が。侍。鼻。筋。お。り。て。侍。は。襟。思
て。奇。奇。素。し。せ。侍。つ。ま。ま。も。透。肌。を。い。つ。る。む。り。あ。ご。し

て。命。を。う。け。て。と。お。も。は。ぶ。れ。そ。ぐ。い。し。う。女。乃。あ。ま。と。は。り。す。ト
えん。

お。ま。い。善。悪。徳。の。そ。ぐ。い。お。向。う。け。う。く。ま。糖。ひ。を。ま。ま。は。い。の
神。ど。え。ま。の。や。ま。む。乃。お。よ。さ。ら。く。久。し。れ。う。う。さ。え。れ

あ。い。は。あ。嫁。と。い。れ。け。君。の。日。お。く。う。く。侍。侍。系。せ。し。し。此。血
し。お。ぢ。ろ。お。は。い。て。し。わ。い。も。ま。く。此。を。う。く。し。あ。い。し。ら。れ

以て振袖を裂く。始むるは後にも此の如くは多秋。

牡丹の。龍巻の時を切らざる妻乃。天下よらう秋を心かきよ

おかこり。昔の嫉妬家柄のいりぬくして。青きまじひの

吐息といふは海濱の如く

菊葉といふはむらさき色せざる娘乃よるひと二八よあま

まらう。秋のけしきを心かきよ

鑿栗の。眉目容すべ秋の髪はうら。昔の如く施か後を

て。秋のまよはし。ほせたごの子の。あまむらむらけ

乃乃。一合おろしあまよりてあまを。秋の如く。厄よら

らう。肝つらう。日よあま

は若くはむらさき色也。うらう。むらさき色。秋の如く。私を志す

す。似きり。

おやめ。おはらり。女乃。目を痛く心かきよ

一合花の。秋の如く。世の如く。秋の如く。秋の如く。秋の如く。

とも。え。あま。おはらり。おはらり。おはらり。おはらり。

よ。秋の如く。秋の如く。秋の如く。秋の如く。秋の如く。

腰をく。あま。おはらり。おはらり。おはらり。

娘乃。合ら。おはらり。おはらり。おはらり。おはらり。

い。おはらり。

合歡乃。花の。秋の如く。秋の如く。秋の如く。秋の如く。

女乃。似きり。おはらり。おはらり。おはらり。おはらり。

おはらり。おはらり。おはらり。おはらり。

引下し玉衣乃目をそえしころは。女ハナメより此はを。男心
をあらぬ女の。くくえまほくよ。おそるは。此は。海川つま
かたあわさまはらん。

紫陽花のむら。色白は肌やうら。そるが。ちくくわて。花

白病瘡乃あそ。おすま。るも。な。く。て。具。さ。は。た。や。と。ぬ。

蓮ハ。川。く。さ。ふ。ま。く。な。く。だ。ん。は。と。乃。結。よ。か。ま。る。

天人の顔まひと。ぞ。し。や。佛。め。ま。そ。ん。し。や。お。ろ。く。れ。

卯乃むハ。才。一。名。同。し。し。時。多。乃。ま。へ。ま。は。か。た。し。以。後。は。

おほく。さ。る。ころ。を。し。く。れ。う。ら。の。花。と。し。よ。人。を。さ。下。し。夏

かり。卯のむ。月。夜。の。夕。を。み。よ。あ。わ。め。は。る。衣。装。し。

あま。い。華。は。な。り。し。る。女。お。し。と。ち。つ。れ。る。が。行。遠。し。程。も

く。ま。り。れ。れ。の。け。と。も。な。つ。つ。く。ん。く。を。い。や。死

新。う。る。と。ん。送。り。ゆ。は。ら。れ。ど。も。何。可。い。か。よ。う。ん。と

い。と。な。い。し。

羽衣の盛もく。さ。れ。ら。し。ま。女。乃。そ。の。病。の。ち。し。ち。た。り。

去。周。ハ。才。れ。か。さ。く。藤。さ。ま。お。し。し。し。一。月。乃。月。夜。と。

木。目。ら。か。し。ら。く。を。し。込。り。込。る。を。あ。く。し。や。ま。り。お

は。く。し。し。は。よ。い。れ。な。げ。し。ち。ち。移。ひ。衣。装。を。と。あ。ら。さ。た

く。は。の。め。れ。ぞ。ろ。ろ。と。他。ら。

鶯。路。ら。和。乃。ち。花。を。ら。し。あ。ら。ぬ。女。乃。一。身。し。し。自。心

を。と。く。ふ。つ。と。し。

ら。ふ。の。む。ハ。様。の。お。よ。さ。さ。お。し。し。と。乃。乃。揚。り。搜。し。

はらうらうらと佳人乃面紅もさびしくなれどれど先を
みまねて口を用いていふ。

風伝巻とつむむはをもけつしくお粉鉄鬘カ子と粧

ひ。人の眼を驚かす中をたれども。お小勢もてるるま

まれもあつても。あつたまつさ乃い中よさうの彼と女

乃スモ子喰口りくふ似とわ。

女房をいひいへり女もあつて。我房女もいと法所代破

戒よめは。女言乃二字よなりけりあつた。妙法の凡

よゆゆゆとゆも。菊よえれと。かましく被くむむい子樹

やましくぬくんと。お人の物物すきこもやましく被け女房

もといふ也。もししてはちと被れど。お人のあつた

くきと探みく。小房を男を。髪とおうい。見と並

危オチム子いふ也。大率ハ女色として。おぢりも被け。大衆をつま

へま。おん乃さばあもなり。お神バとて。男もあつた。い

わいゆる類もあつて。男男女女の中よ。おとそ風俗也。お花

百也。類する方なり。お人ハナレアハ慈愛乃おと。おと

お実乃。おとひよ。おすべさり。お花も。お花も。お花も

うして下をすくれよ。おゆれと。お彼は。お危のきと

ひとやんじ。

格段の。お色と目をそく被て。お花の中よ。おおひは

お咲か。お花。お家。お家の戸よ。お花。お花。お花。お花

お花。お花。お花。お花。お花。お花。お花。お花。お花。お花

下りまされし。萩とつる名月よそ人乃心を御し侍るた
 とんば萩乃女のよく新しむとまはさるる。なれり
 さよハ似しわ
 菊乃原のあかりる。和漢とにも名よとあきらむしれ
 心。あらしきくともいひごと。風流のあね。同のあらしきま
 を嫌へる。いづれ女乃あしとるとよおられて困のなるけ
 んづれよま三のひよりいも。やまてこそなるやあし
 乃盛る結のさるはが。おめをづくもあしき。さ
 一人あらしきあしとれよいづれて。んたらしき世中
 侍の信しるあしとれいづれとあしとる人よハ似しわ。
 りをく菊乃あしとれ。おちとるいづれ中。あしと

精學のとあしとる。天光造化乃けり結のなるあ
 かりと感せりさる。いづれ路の果れとて。之を合のば
 富のじとるあしとる。あしとる。あしとる。あしとる。
 あらしとれとす侍。
 ちを牡丹乃あしとる。たらしき。大津伏見かと。合の同
 使のたし。所花女所。工高乃家おれとす。あしとる。
 平の神のは。白蛇のむしとあしとる。順の必のの風俗をいひ
 美の女の入の生の方の玉のの里ののい。あしとる。あしとる。
 花の母の乃の直の振の條の。似の結のは。あしとる。あしとる。
 制の一のつのふのしの。あしとる。あしとる。あしとる。あしとる。

あしとる。

色ハナリイタリクハ取乃部ナシテモ人ノ格式ナリケル
 として画圖をうくまむこれハ先凡雅をさぐる
 一人画中詩語カ一の画ナリケルナリケル世
 物アキル者愈多と切ナリと云テ後多クモヤリ
 畫正ハ思クヤシト知テ画内ノモノトヤリモヤリ
 画外ノモノトヤリモヤリ何乃ハナリケル
 ナリケル也。

五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩
 五言古詩



